

社外取締役メッセージ



大嶽 佐由美 取締役（非常勤・社外取締役）

企業経営のグローバル化が加速するなか、日本企業においても、サステナビリティ、ダイバーシティ、ガバナンスといったテーマを国際的な視点で捉えることが、ますます重要になってきていると感じています。当社の取締役会では、これまでグローバル市場におけるマーケティングコミュニケーションやリスクマネジメントの経験を活かし、積極的に質問や意見を述べることを心がけています。活発でオープンな意見交換を通じて多様な視点を組織に取り入れ、企業価値の向上に貢献できるよう努めてまいります。



瀧野 敏子 取締役（非常勤・社外取締役）

当社は海外売上高比率40%超という目標を掲げています。そのためのガバナンス強化という点から、①取締役会の独立性・多様性、②サステナビリティ、③内部統制・リスクマネジメント、④資本効率改善と株主還元、⑤コンプライアンス、などが重点項目と考えます。就任以来、取締役会の実効性は高まってきていると評価されますが、一方で海外展開に必須の国際的多様性をもつ取締役の登用が望まれます。また食品ロス削減、サプライチェーンの人権問題等についての議論も深める必要があります。



葛山 康典 取締役 監査等委員（非常勤・社外取締役）

エスビー食品の経営のさらなる健全性と透明性を確保することは、持続的な成長に不可欠であると考えております。企業財務の専門家として、財務の健全性を維持・発展させるとともに、リスク管理や内部統制システムが適切に運用されることを確認し、独立した社外の立場から取締役監査等委員としての取締役会の監督を行って参ります。また、リスクの観点をふまえながら、企業価値の向上と持続可能な成長に資する強固なガバナンス体制を構築するため、経営陣との建設的なコミュニケーションに努めてまいります。



松家 元 取締役 監査等委員（非常勤・社外取締役）

2024年の監査等委員会設置会社への移行に伴い、社外取締役として取締役会で議決権を行使する立場となり、実務法曹としての視点に加え、経営視点からの活動に努めています。監査等委員会の一員として、他の委員や内部監査部門と連携し、幅広い情報に基づく監督を通じて、企業の信頼性と持続的な成長を支えることが重要と考えています。引き続き、多様なステークホルダーの期待に応えるべく、積極的な関与と協働的な議論を通じて、ガバナンスの実効性向上に取り組んでまいります。



鵜高 利行 取締役 監査等委員（非常勤・社外取締役）

企業にとって、財務情報の正確性とコンプライアンスの徹底は、信頼を築くうえで欠かせない要素です。専門知識と経験を活かし、財務諸表の信頼性を確保するとともに、リスク管理や内部統制の適切性を検証し、透明性の高い情報開示に努めます。独立した立場から、取締役会の監督機能を強化し、ガバナンスの実効性を高めることにも注力します。こうした取組みを通じて、経営陣との建設的な対話を深め、健全な企業文化を育みながら、持続可能な成長と企業価値の向上に貢献していきます。